

# 野球少年



国書刊行会

赤バット・青バット… 今 再び「野球少年」

## 復刻本紹介



■22年創刊号

昭和22年(1947)少年雑誌の雄、ここに登場。戦後野球の熱い息吹きが萌芽する。



■23年11月号

8月号イターライ始。木号でも大特集。



■24年10月号

戦後初の大リーガー、S.シールズ来日特集号



■25年5月号

この年より二次リーク制に移行。「野球観戦大宝典」で人特集。



■31年1月号

巨人・アーリーズ征来。ヤンキース来日。本誌は漫画の比重が高くなる。



■33年6月号

長島ジビュー豪華ビンテージ付。野球界は新時代へ突入。



(付録) ベーブルース・ホームラン六双



(付録) 三原監督考来美戦野球盤



美しい夜間試合(23年11月号ビンテージ)

## 別冊

- 名選手フォト集／野球界年次別成績
- ・記録／人気選手
- 作品紹介／全号総覽／スポーツ年表
- ／思い出の文集

## 本書の特徴

- 本書は、月刊少年雑誌「野球少年」の復刻版です。
- 昭和22年より36年までの原本より思い出の六冊を完全復刻。
- 付録として野球盤、双六を添えます。
- 別冊で「野球少年」の全容を紹介、新たな解説がつきます。
- 愛蔵版セット函入り。

B5判・全6冊+付録・別冊付  
セット函入

**予定価18,000円**  
(分売不可)

発行所 国書刊行会  
(本書取扱い書店)

東京都豊島区巣鴨3-5-18 ☎03(917)8287 振替東京5-65209

目次(全六冊・付録・別冊)



# 「野球少年」復刻に寄せて

株式会社芳文社取締役会長 孝寿 芳春

このたび、国書刊行会の手により、「野球少年」が復刊出版することとなりました。

『野球少年』が創刊されたのは昭和二十二年四月のことです。敗戦後の混沌の中で復興の理想に胸を躍らせ、芳文社の前身である尚文館を設立、「野球少年」で社の土台を築いていったのが、昨日のことのように思い出されます。

私は陸軍主計少佐、陸軍省軍務局課員のとき敗戦を迎え、軍人時代の同期生であった上法快男とともに出版業を始めたことになりました。そして最初に創刊した「痛快少年」を改題した「野球少年」であります。「痛快少年」は当時は反動的な雑誌と目され、用紙の配給を受けることが困難で改題したこと、紙の配給統制下、開紙の獲得に駆けまわったこと、プロ野球の試合でホームラン賞として「野球少年」から清酒一升を提供したことなどなど、いろいろなことが機会し想い出されます。

敗戦直後の物資欠乏の時代、物心ともに飢えていた少年たちにとって、野球はなにより希望と夢を与えてくれるスポーツだったのです。『野球少年』の発行部数は平月号で二十五万部、新年号四十万部を記録して、当時の少年雑誌の王者との上がつたのです。

私のような出版に才覚の素人が、「野球少年」の創刊に成功したのです。前記の上法の従兄にあたる加藤謙一（元講談社顧問、戦前の少年雑誌部の編集長として黄金時代を築いた）の手腕や、私の旧制中学時代の友人であった三原脩（當時読売新聞社運動部記者で、のち巨人監督）に執筆を依頼す

ることも、主要な野球記事の執筆者を紹介してもらつたことに負うところが大きかったです。

NHKアナウンサー志村正順の誌上東京放送は大変な企画、テレビの新しい時代に圧倒的な支持を受け、大反響をもって迎えられました。また富田常雄、山岡莊八の熱血純情小説や、井上一雄、島田庄三、寺田ヒロオの野球漫画も読者の血を沸かせました。

復興の時代に燃えた希望の灯をともした「野球少年」が、今再び陽の日を見ることになりまことに私は私の喜びに堪えないとこころであります。一人でも多くの方々が目にされることを心より願つてやみません。

（前略）

## なつかしの野球雑誌

ニュースキャスター

佐々木信也

たしかグリコか森永のキヤラメルだと思ふんですが、買うと「オマケ」がついていて、小さい紙袋に入っているんですが、相撲や野球選手のメンソ、それはもう胸をワクワクさせて紙袋を破いたものです。

ズムマリを使って野球をしてましたのですが、食べるものがまるでなくして、遊び道具もない、道具は自分たちで作つたのです。遊びも単純で、素そのものでしたら、生活は貧しくても心は豊かで、それはそれでいい経験をしたなんと思ってます。

そのころ私は神奈川県の藤沢から海の方に入つた鵠沼海岸というところに住んでいたのですが、私の家のなまめ前に鵠沼ホテルといふ小さなホテルがありました。よく見かけましたが、そのホタルから身体の大きな人たちがバッグやバットを持って出てくるんです。子供の私には当然大きさ見えなんですが、その人たちは中日ドラゴンズの選手たちで、そこから横浜スタジアムや後楽園球場へ試合に出かけました。いまでは考へられないのですが、すべて空腹で焼かれて、並ぶ間に治まるところになつたのでしょうか。あとで考へみると、その大男たちのうちの一人の大投手杉下さん、ホームランバッターの杉山さん、好打者の児玉さんなど、野球少年の私にとっては神様みたいな人でした。

「野球少年」「野球界」「ホームラン」なつかしい雑誌ですが、杉下さんたちのグラビアにくぎづけになつたのです。

その「野球少年」の復刻版が出るそうで、私も同世代の人たちばかりでなく、いまの子供たちもぜひ読みませたい。本当に楽しみで期待しています。

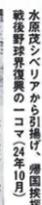
復刻号よりピックアップ



水原茂シベリから引揚げ  
戦後野球界復興の一コマ  
24年10月

熱狂人気を博した誌上放送、志村正順

の実況に本の創刊針付け  
22年4月



市原茂シベリから引揚げ  
戦後野球界復興の一コマ  
24年10月

熱狂人気を博した誌上放送、志村正順

の実況に本の創刊針付け  
22年4月



市原茂シベリから引揚げ  
戦後野球界復興の一コマ  
24年10月

熱狂人気を博した誌上放送、志村正順

の実況に本の創刊針付け  
22年4月



市原茂シベリから引揚げ  
戦後野球界復興の一コマ  
24年10月

熱狂人気を博した誌上放送、志村正順

の実況に本の創刊針付け  
22年4月



市原茂シベリから引揚げ  
戦後野球界復興の一コマ  
24年10月

熱狂人気を博した誌上放送、志村正順

の実況に本の創刊針付け  
22年4月



市原茂シベリから引揚げ  
戦後野球界復興の一コマ  
24年10月

熱狂人気を博した誌上放送、志村正順

の実況に本の創刊針付け  
22年4月

長崎県ビューサーするも田の前に三振、別府球場が仲よくスッピン 31年1月



長崎県ビューサーするも田の前に三振、別府球場が仲よくスッピン 31年1月